



Ai News Paper

Event & Program

エーアイニュースペーパー

2021年4月号/vol.25

text: 白戸健 Yu-ryu-

コウセイ Sin Gim

photographer: スタッフ

Dtp: コウセイ 白戸健

■アート・インクルージョン展 in メディアテーク 無事終了しました!!

搬入搬出を合わせ7日間の「アート・インクルージョン展inせんだいメディアテーク」が終了しました。会期中に緊急事態宣言あり、地震ありでどうなることかと心配もありましたが、なんとか無事に終えホッとしました。出展協力してくれた皆さん及び協賛協力いただいたすべての皆さまに感謝いたします。作品展示や映像作品の数々、そしてAiでの普段の活動を見せるという試みも含め、充実した展覧会になったと思います。日常に戻り、誰かに見られようが見られませんが、日々絵を描いたり、作品作りをしています。仲間と成し遂げることで学ぶこともたくさんあったし、新しい発見もありこれからの活動の力になったように思います。今月は「アート・インクルージョン展」特集号としてニュースペーパー制作班スタッフの感想と併せてお読みください。



搬入から搬出までまるっと一週間、地震、緊急事態宣言発令とそれに伴う一部予定の中止と、災難がありつつも多くの来場者にお越しいただき無事に終える事が出来たアート・インクルージョン展。この展示会の為にアーティスト各々が準備してきた事が遺憾なく表現出来た貴重な1週間であり、これを機に「障がい者と支援員」についての認識が向上していければと思います。自分自身も今回の展示会でいろんな表現に触れて得た「欲」を追求し、創作の幅を広げつつ、就職に向けての技能向上に繋げていけたらと考えています。(コウセイ)



今回のメディアテーク展を個人的にすごく楽しみにしていました。自分は準備などに参加できずに少し不安な気持ちもありましたが実際に行ってみると、想像よりも大きな規模でたくさんの作品が展示してあり圧巻でした。自分の作品もその中に混ざっており、とても興味深く面白い空間になっているなど感じました。今回のメディアテーク展を終わりに今思うことはいろいろなことへ創作意欲が湧いていることです。それはきっと自分では想像もつかないようなアート表現や自己表現がありそれに感化され、自分でもこういった表現をしてみたいと思えるようになったからだと思います。そして自分の作品もいつの日か誰かの気づきに繋がるようになればいいなと思い、模索しながらも制作していきたいと思っています。(Yu-ryu-)

オモテの写真:

アート・インクルージョン展inメディアテーク:<はじまりの風景>(初日)



前日の16日から搬入、設営から始まった今回のイベント。Aiをまるごとメディアテークにもっていき、そこで仕事をするという事が不思議な感覚であり多少の違和感を覚えましたが、今回のイベントに向けて、みんなが準備してきたものひとつひとつを展示していく中で、最終日の搬出作業を終えた時になんとも言えぬ思いを抱きました。感慨深くもあり、あっという間に終わった寂しさもあり、と様々な思いを抱きつつも、自分の中で何か良い方向へと変化した一週間でした。(白戸 健)



メディアテークでアートインクルージョン展を開催すると言う事で最初は凄く驚いたし、あそこに自分たちの作品が飾られると思うと正直嬉しかったです。たくさんの人に見られて、ある意味勉強になりました。(Sin Gim)

メディアテークで上映した映像を配信しています。



ドキュメンタリー「パートナーズ」
(2021年3月17日版)



ドキュメンタリー
「アチェと東北、200キロサイクリング」



アート系福祉サービス事業所の
「もやもや座談会」



ドキュメンタリー「アート・インクルージョン」
(2021年3月20日版)



アートとまちづくりシンポジウム